

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		リニア関連道路整備事業		課名	国県関連事業課	事業No.	239
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H28	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する			
	分野別計画			第3次国土利用計画飯田市計画			
				飯田市土地利用基本方針			
法令・例規等			道路法				
事業目的		対象	リニア長野県駅へアクセス道路				
		意図	リニア長野県駅へのアクセス機能の向上				

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> 上部工の製作が完成し、中央道に新大久保橋を架設しました。 中央道上下ランプ部分の完成、暫定供用のアクセス部（東側のルート）が完成できました。 令和3年3月28日座光寺スマートIC供用開始することができました。 			座光寺スマートIC事業				884,191
				リニア関連道路整備事業				25,778
				事務費				5,901
				会計年度任用職員人件費				2,333
その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			計画	実績	計画	実績		
	座光寺スマートIC事業の整備率	%	1	1	1	1		
	リニア関連道路整備事業	箇所	1	1	1	1		
2年度決算(千円)	予算額	1,014,760	特定財源内訳及び補正事項					
	決算額	918,203	(国)社会資本整備総合交付金(5.5/10) 117,014千円					
	財源の状況	国庫支出金	484,117	(国)ICアクセス道路整備事業補助金(5.5/10) 367,103千円				
		県支出金	0	(地)公共事業等(通常:充当率90%、国3次補正:充当率100%)				
		地方債	370,500	(そ)繰越金				
		その他	11,873	1→2 繰越明許費 254,307千円 2→3 繰越明許費 100,000千円				
一般財源	51,713							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	11	12	312,500	216,546	社会資本整備総合交付金事業費(道路整備)
2	1	8	2	3	11	14	667,646	667,645	改築補助事業費
3	1	8	2	3	13	1	26,380	25,778	国県道対策関連道路改良事業費
4	1	8	2	3	11	1	5,901	5,901	事務費
5	1	8	2	3	1	3	2,333	2,333	会計年度任用職員人件費
6									
7									

振り返り課題認識	令和2年度(令和3年3月28日)座光寺スマートICを供用開始することができました。
上記の課題解決のための有効策	リニア駅への接続道路整備として、長野県が実施する、座光寺上郷道路に関連する市道も含め、地元及び関係地権者と協議しながら事業進捗を図る必要があります。
次年度に向けての取り組み	隣接農地及び近隣住宅地への影響を最小限にするとともに、計画路線の早期完成を目指し事業促進します。